

第6章 芸術文化

第1節 芸術文化の振興

第2節 宮城県美術館

第1節 芸術文化の振興

1 基本方針

県民の豊かな情操を培い、潤いのある生活の実現を目指し、かおり高い芸術文化の振興を図るため、県・市町村が一体となって文化行政施策の充実に努める。

2 施策の重点と具体策

(1) 芸術鑑賞機会の充実

優れた芸術を鑑賞する機会の提供と芸術鑑賞能力の向上、豊かな情操の涵養を図るため、次の施策を実施した。(第6-1表参照)

ア 文化庁との共催による本物の舞台芸術体験事業(10公演)

イ 財団法人日本青少年文化センター、社団法人日本児童演劇協会、市町村等教育委員会との共催による宮城県巡回小劇場(37会場)

ウ 県・仙台市・仙台市教委・社団法人宮城県芸術協会・河北新報社・財団法人宮城県文化振興財団との共催による宮城県芸術祭の実施

(2) 参加し創造する文化活動の充実

県民が参加し、創造する文化活動の活性化を図るため、市町村教育委員会・県市町村文化団体及び高等学校文化連盟などとの連携のもとに、次の施策を実施した。(第6-1表参照)

ア 国民文化祭派遣事業

イ 地方青年文化祭・県青年文化祭・全国青年大会派遣事業

ウ 高等学校文化活動助成事業(支部活動・専門部活動他)

エ 市町村文化祭・各種展覧会との連携による地方音楽会(2会場)、絵画・書道展(3会場)

(3) 共催並びに後援等の援助奨励

県内全体を対象とした各種芸術文化活動及び事業に対し、積極的に共催・後援を行い、優れたものには教育長賞を贈り、奨励・育成を図った。

(4) 河北美術展への補助金交付

東北唯一の公募美術展として、県展の性格を持つ第67回河北美術展に対し補助金を交付し、地元作家の育成を図るとともに、地域に根ざした芸術文化の振興に寄与した。

(5) 地域文化功労者表彰

本県の芸術文化の普及向上に努めた功により、次の方が芸術文化・文化財保護部門で文部科学大臣表彰を受けた。

山崎 鉦男(晃秋)

多年にわたり、優れた創作活動と後進の指導育成に努め、書道界の発展に寄与するとともに、本県の芸術文化の振興に尽力した。

馬場の田植踊保存会

多年にわたり、重要無形文化財「秋保の田植踊」の保存団体として、その伝承と後継者育成に尽力し、本県の文化財保護思想の普及に多大な貢献を果たしている。

第6-1表

平成18年度芸術文化関係事業

事業	期 日	会 場	入場者	参加者・参加作品数等	
第42回宮城県芸術祭	開 場 式	9.29	せんだいメディアテーク5F	55	(参加者72名)
	絵 画 展	9.29~10.11	せんだいメディアテーク5・6F	6,291	日本画66点 洋画237点
	書 道 展	10.13~10.18	せんだいメディアテーク5・6F	2,706	387点
	華 道 展	9.29~10.4	せんだいメディアテーク5F	3,418	前期32点 後期32点
	彫 塑 展	10.13~10.18	せんだいメディアテーク5F	1,383	17点
	工 芸 展	9.29~10.4	せんだいメディアテーク5F	2,709	71点
	写 真 展	10.6~10.11	せんだいメディアテーク5F	2,654	110点
	茶 会	10.8・15・22	輪王寺	1,050	
	長 唄 演 奏 会	10.15	仙台市民会館小ホール	252	
	音 楽 会	10.20	仙台市青年文化センター	631	「アマデウスは250歳」
	文 芸 祭	10.28	宮城県民会館会議室	103	「ことばの森」 ~自作朗読と解説
	工 芸 展 美 里 展	11.12~11.19	美里町近代文学館	301	工50
	絵画・書道展(南三陸展)	11.9~11.12	南三陸町志津川公民館ギャラリー	563	日14 洋40 書37,
		(石巻展)	11.16~11.19	石巻河北総合センター	722
(山元展)		11.23~11.27	山元町中央公民館	584	日15 洋38 書36
参加行事	地 方 音 楽 会	10.17	東松島市奥松島パウンス88	445	
		10.19	富谷町立東向陽台中学校	400	
	第37回洋舞合同公演	11.12	宮城県民会館	884	
第51回仙台三曲協会定期演奏会	10.8	仙台市民会館大ホール	1,100		
閉 会 式	11.29	ホテル仙台プラザ	-	(参加248名)	
第59回宮城県合唱祭	5.28	多賀城市文化センター	1,676	中・高・大・一般 団体	
平成18年度宮城県写真展	11.14~11.19	県民ギャラリー	1,200		
高等学校文化祭	音 楽 祭 (第29回)	10.24	仙台市青年文化センター	70	合唱, 合奏, 器楽の発表
	演 劇 コ ン ク ー ル (第44回)	11.9~11.12	名取文化会館	2,376	各地区代表12校による県大会
	書 道 展 (第55回)	12.12~12.17	県民ギャラリー	1,900	県内高校生の作品
	美 術 展 (第59回)	1.16~1.21	県民ギャラリー	2,303	県内高校生の作品

国民文化祭			10.22～11.3	マーチングバンド・パトントワリングフェスティバル 源氏物語フェスティバル	33 7	(派遣人数)
文化庁派遣事業	本物の舞台芸術体験事業	合唱	11.24	山元町立坂元小学校	295	東京混声合唱団
			11.27	名取市立高館小学校	261	
		オーケストラ	11.29	気仙沼市立鹿折中学校	323	東京シティフィルハーモニック管弦楽団
		児童劇	10.31	美里町立南郷小学校	316	劇団風の子北海道
		演劇	10.30	女川町立女川第四小学校	49	かわせみ座
		ミュージカル	11.28	名取市立増田小学校	805	劇団新児童
11.24	登米市立加賀野小学校		268			
芸術鑑賞巡回事業	巡回小劇場	音楽	9.4～9.8	県内10会場	3,868	「海わたる風2005」 ～韓国と日本の打楽器コラボレーション～
		演劇	9.25～10.13	県内14会場	4,962	劇団らくりん座「おこんじょうり」 劇団ポブラ座「とべないホテル」
	青少年劇場小公演	演劇	9.11～10.6	県内9会場	1,459	語り芝居
				県内9会場	1,491	サクソフォンとピアノのコンサート
県内9会場				1,852	林敏揚琴コンサート	
青年文化祭	地方青年文化祭	演劇・合唱・郷土芸能・意見発表・人形劇・生活文化展他	18.9.24	宮城県総合運動場	277	
			10.29	南三陸町スポーツ交流村	853	
			11.26	女川町生涯教育センター	629	
			19.1.28	大崎生涯学習センター	700	
			2.25	登米市中田農業環境改善センター	150	
			2.25	一迫ふれあいホール	356	
			3.4	角田市民センター	581	
	宮城県青年文化祭	6.10～6.11	大郷町文化会館	916		
全国青年大会(文化祭関係)	11.10～11.13	日本青年館他	-	(宮城県選手団 芸能文化の部182人)		

第2節 宮城県美術館

1 運営方針

本美術館は、地域社会に根ざした、特色ある近代的な美術館として、県民生活に密着し、県民に親しまれる総合美術センターとなるよう運営する。

すなわち、美術館としての充実した調査研究活動を踏まえ、すぐれた美術作品を収集、展示して観賞の機会を提供し、県民の積極的参加による創作活動の推進を図り、美術に関するさまざまな体験交流の場となるよう活発な教育普及活動を行い、さらに美術に関する他の領域と連携して文化的諸活動を行う。

これらの活動を通じ、特色ある地域における総合美術センターとして、県民に生涯学習の場を提供し、県民が自らその教育と情操を高め得るように努め、本県の芸術文化の発展に寄与する。

実践のための方針

(1) 美術作品などの収集保存

主として次の作品などを収集保存する。

- ア 宮城県及び東北地方ゆかりの作家の作品
- イ 日本の近・現代美術
- ウ 海外の美術
- エ 美術資料(模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード、テープなど)

(2) 美術に関する調査研究

- ア 宮城県の美術に関する調査研究
- イ 美術館が収集する美術作品に関する調査研究
- ウ 近代及び現代美術に関する調査研究

エ 美術館における作品の展示・整理・保存などに関する調査研究

オ 美術館における教育普及活動に関する調査研究

カ 美術に関する刊行物の出版

(3) 展示

ア 常設展示

収蔵する美術作品を中心とし、組織的に常時展示する。

イ 特別展示 - 国内外のすぐれた美術作品により美術館として特色ある企画展示をする。

(4) 教育普及活動

ア 創作活動 - ワークショップでの教育プログラムの立案とその実行

イ 講演会、映画会、音楽会などの開催

ウ 美術図書、ビデオなどの映像資料の公開

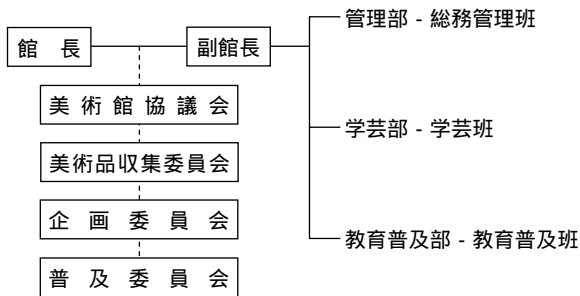
エ ハイビジョンによる美術作品の上映

オ 広報活動

カ 県民ギャラリーの運営

2 組織と予算

(1) 組織



(2) 宮城県美術館協議会

ア 第12次宮城県美術館協議会委員名簿

No.	氏名	現職
1	横山 美喜子	仙台市立松陵小学校教頭
2	森 喜博	宮城県立金成養護学校長 県高等学校美術研究会長
3	及部 克人	武蔵野美術大学教授
4	矢内 諭	東北工業大学教授
5	有賀 祥隆	東京芸術大学客員教授
6	板橋 恵子	(株)エフエム仙台サウンズ 取締役制作部長
7	齋藤 徹行	(株)河北新報社編集局 生活文化部長
8	相田 ひろみ	画家 仙台シルクスクリン協会長
9	阿部 愛	学生
10	加藤 千明	(財)山形美術館長
11	渡辺 雄彦	(社)宮城県芸術協会副理事長
12	濱田 淑子	東北福祉大学助教授
13	市川 政憲	愛知県美術館長

イ 第12次宮城県美術館協議会開催状況

第1回 平成18年6月20日(火)

- ・報告事項
事業実施結果及び事業計画の報告について
- ・協議事項
美術館の運営について

第2回 平成19年1月31日(水)

- ・報告事項
事業実施結果及び事業計画の報告について
- ・協議事項
美術館の運営について

(3) 予算

項目	金額(千円)
美術館費	349,951

3. 事業

(1) 展示事業

国内外のすぐれた美術作品,資料などを組織的に展示し,広く県民に観賞の機会を提供し芸術文化の向上に努めた。

ア 常設展示 - 本館所蔵美術作品を常時展示し,常設展を一層魅力あるものとするため特集を実施した。

イ 特別展示 - 国内外のすぐれた美術作品による特色ある企画展を実施した。

第6-2表

展示事業の入場者数

(単位:人)

展覧会名	開催期間 (開催日数)	個人			団体			その他	合計	
		一般	大高生	小中生	一般	大高生	小中生			
特別展	コレクションの四半世紀	H18.4.18~7.30(95日間)	7,927	1,413		2,160	362		4,209	16,071
	生誕100年記念吉原治良展	H18.8.6~10.9(57日間)	4,187	606	406	569	201	97	1,638	7,704
	パウル・クレー造の物語	H18.10.17~12.10(48日間)	12,591	2,188	694	819	519	1,412	2,775	20,998
	アートみやぎ2007	H19.1.30~3.31(54日間)	2,641	506	124	307	140	39	1,855	5,612
計	254日	27,346	4,713	1,224	3,855	1,222	1,548	10,477	50,385	
常設展	195日	16,059	2,166	2,128	3,606	537	3,026	4,003	31,525	
合計	449日	43,405	6,879	3,352	7,461	1,759	4,574	14,480	81,910	

常設展の入場者は,本館常設展の観覧者延数を記載した。

(2) 教育普及事業

県民の美術文化の向上及び創作活動の推進を図るため“だれでも,いつでも”自由に参加できる創作室運営を基盤に通年の日常活動と併せ,土曜・日曜を中心に作家の創作のありのままの姿に

ふれることを目的とした専門家による公開講座,公開制作を開催した。また,学校へ出向いての鑑賞活動,美術館講座,講演会,音楽会,ハイビジョンギャラリー,美術図書の公開など幅広く多彩な催しを行った。

ア 創作室の通常活動

第6-3表

実施日	事業内容	講師	参加者数	会場
年間を通し開催(196日)	ワークショップ	教育普及部職員	2,968人	館内・創作室
	美術館教育(美術探検・美術館探検・その他)	教育普及部職員	6,656人	館内・創作室
	オープンアトリエ	教育普及部職員	7,241人	館内・創作室
計			16,865人	

イ 移動美術探検

第6 - 4表

実施日	実施校	講師	参加者数
9月12日	志波姫中学校	教育普及部職員	60人
11月9日	南中山中学校	教育普及部職員	120人
11月22日	津久毛小学校	教育普及部職員	10人
12月1日	花山中学校	教育普及部職員	38人
計			228人

ウ 公開講座・公開制作

第6 - 5表

実施日	事業内容	講師	参加人数	会場
6月18日,25日,7月2日,9日	県民大学「美術館学入門」	美術館職員	80人	創作室
10月8日～10日,18日(育生) 11月2日～5日(展示)	公開制作「発芽・雑草インスタレーション」	狩野哲郎(美術家)	203人	創作室
11月14日～19日(制作) 11月21日～12月3日(展示)	公開制作「呼吸する光 インスタレーション」	庄子陽(美術家)	884人	創作室
計			1,167人	

エ 美術館講座

第6 - 6表

実施日	事業内容	講師	参加人数	会場
3月3日	第1回「狩野永徳の空間演出法-聚光院・四季花鳥図襖絵」	原田 敦子(当館研究員)	97人	アートホール
3月10日	第2回「バロック-信仰の空間と絵画」	宮下規久朗(神戸大学助教授)	91人	〃
3月17日	第3回「日本建築の中の絵画-高橋由一と黒田清輝の試み」	木下 直之(東京大学教授)	81人	〃
3月24日	第4回「表現の現場-林檎の礼拝堂・琴平山再生計画を中心に」	田窪 恭治(美術家)	92人	〃
計	4企画		361人	

オ 講演会等
第6 - 7表

実施日	事業内容	講師	参加人数	会場
5月28日	展覧会関連事業 絵本の力	河合隼雄（臨床心理学者・文化庁長官）	300	講堂
8月20日	「吉原治良展」関連コンサート	藤原道三（尺八）	170	
8月26日	アポリジナル・カルチャー in みやぎ ステージパフォーマンス	和豪（尺八、津軽三味線、ディジュリドゥ、ギター、パーカッション）	220	アートホール
	特別講演「大地に生きる-アポリジナル文化の魅力-」	松山利夫（国立民俗学博物館民族社会研究部教授）		アートホール
9月3日	吉原治良-その知られざる画業を読み読	熊田 司（大阪市立近代美術館建設準備室研究主幹）	60	アートホール
9月17日	疾走と屈曲-吉原治良の足跡をたどって	林 道郎（上智大学教授）	70	映像室
11月3日	特別鑑賞会「蛾の踊り」	長谷川三郎（館長）	20	展示室
11月3日	アートを見ること、見る場所	市川 平、田中伸行、長岡 勉、林 武史	90	展示室
11月11日	感性のフォーラム「時間を描く-ヒエログリフの画家クレーの挑戦」	前田富士男（慶應義塾大学教授）、当館学芸員	26	展示室
11月23日	「パウル・クレー 創造の物語」展 記念コンサート	植村理葉（ヴァイオリン）、花岡千春（ピアノ）、恩地元子（コーディネイト）	175	展示室
12月3日	クレーと日本	西村勇晴（当館学芸部長）	43	展示室
	特別展展示解説			
4月9日	コレクションの四半世紀「パウル・クレーに会おう」	当館学芸員	35	展示室
4月16日	コレクションの四半世紀「美術の歴史と美術館の歴史」	当館学芸員	21	展示室
4月30日	コレクションの四半世紀「戦中から“戦後”へ」	当館学芸員	6	展示室
5月7日	コレクションの四半世紀「表現主義-普遍性への視座」	当館学芸員	15	展示室
5月21日	コレクションの四半世紀「表現への意志-“現代”の諸相」	当館学芸員	30	展示室
5月28日	コレクションの四半世紀「佐藤忠良の彫刻と素描」	当館学芸員	30	展示室
6月4日	コレクションの四半世紀「平福百穂を知っていますか」	当館学芸員	22	展示室
6月11日	コレクションの四半世紀「それぞれの東北」	当館学芸員	17	展示室
6月18日	コレクションの四半世紀「発見された画家」	当館学芸員	30	展示室
7月9日	コレクションの四半世紀「表現主義と日本」	当館学芸員	20	展示室
7月23日	コレクションの四半世紀「さまざまなコレクション」	当館学芸員	20	展示室
7月30日	コレクションの四半世紀「佐藤忠良の彫刻とコレクション」	当館学芸員	30	展示室
8月7日	生誕100周年記念 吉原治良展		50	
8月26日	生誕100周年記念 吉原治良展		50	
9月30日	生誕100周年記念 吉原治良展		40	
10月1日	生誕100周年記念 吉原治良展		40	
10月8日	生誕100周年記念 吉原治良展		50	
10月9日	生誕100周年記念 吉原治良展		50	
10月17日～ 12月8日	パウル・クレー 創造の物語「ウィークデー・トーク」 （会期中の火曜から金曜日 但し11月3日、11月23日を除く）		860	
10月22日～ 12月10日	パウル・クレー 創造の物語「ウィークエンドデー・トーク」 （会期中の日曜日 但し12月3日を除く）		285	
10月22日～ 12月10日	パウル・クレー 創造の物語「キッズ・トーク“こどもの時間”」 （会期中の日曜日）		141	
2月11日	アートみやぎ2007「アーティスト・トーク」	及川 聡子・樋口 佳絵	160	
2月18日	アートみやぎ2007「アーティスト・トーク」	翁 譲（パフォーマンス遠藤豊＋熊地勇太）、石川 舜	190	
3月11日	アートみやぎ2007「アーティスト・トーク」	タノタイガ、加藤 千尋	170	
3月18日	アートみやぎ2007「アーティスト・トーク」	佐藤 淳一	80	
	常設展展示解説			
8月27日	特集 吉原治良をめぐる	当館学芸員	25	展示室
9月24日	明治の洋画	当館学芸員	20	展示室
10月22日	特集 クレーとパウハウスの画家たち	当館学芸員	32	展示室
11月26日	大正の洋画	当館学芸員	25	展示室
12月24日	昭和の美術から	当館学芸員	15	展示室
1月28日	特集 みやぎの日本画から	当館学芸員	12	展示室
2月25日	海外の美術から	当館学芸員	10	展示室
3月25日	佐藤忠良の作品から	当館学芸員	6	展示室
計	50企画		3,761	

カ 公演会
第6 - 8表

実施日	事業内容	講師	参加人数	会場
9月9日	ジャズ イン ミュージアム	岩瀬明美(ボカール・アコースティックギター) James Hoskins(チェロ・パーカッション)	人 170	
12月23日～ 24日	クラシック in ミュージアム タケミツナイト・メシアンナイト	中川賢一(ピアノ)	221	
計	2企画		391	

キ ハイビジョンギャラリー
第6 - 9表

実施月	事業内容	受講者数
		人
4月	日本で見られる19世紀フランス美術	179
5月	シカゴ美術館コレクション	180
6月	日本の巨匠たち その1	192
7月	美術のたのしみ	237
8月	絵巻の世界 その1	122
9月	パリで見られる19世紀フランス芸術	184
10月	ルーブル美術館	239
11月	ルーブル美術館	159
12月	19世紀の絵画運動	161
1月	絵巻の世界 その2	122
2月	オルセー美術館	219
3月	エルミターージュ美術館	210
計		2,204

(3) 貸館事業

美術文化活動の活発化と創作活動の推進を図るため、創作作品の展示の場として、県民ギャラリーを広く一般に貸し付け、美術文化の振興に努めた。

第6 - 12表 県民ギャラリー使用状況

月	ギャラリー1 貸付日数	ギャラリー2 貸付日数	合 計		
			貸付延日数	企画数	観覧者数
	日	日	日	件	人
4月	2	2	4	1	681
5月	6	6	12	2	530
6月	21	12	33	6	2,856
7月	25	17	42	5	4,512
8月	6	6	12	2	1,162
9月	0	0	0	0	-
10月	18	18	36	4	8,185
11月	25	25	50	5	3,420
12月	21	21	42	4	2,395
1月	13	13	26	2	2,992
2月	23	19	42	4	4,667
3月	14	7	21	2	1,397
計	174	146	320	37	32,797

ク ワークショップ『展』

第6 - 10表

実施日	事業内容	観覧者数	会場
4/8～7/17		1,056人	
11/7～11/12 12/5～12/13	ワークショップ『展』	100 84	創作室前ロビー
計		1,240	

ケ 図書室利用状況

第6 - 11表

実施月	公開日数	利用者数	左の内ビデオブース利用者数
	日	人	人
4月	22	200	11
5月	24	232	1
6月	24	178	8
7月	26	236	5
8月	26	329	4
9月	25	271	3
10月	26	244	7
11月	24	327	2
12月	20	217	8
1月	14	160	1
2月	23	208	3
3月	26	248	62
計	280	2,850	115